

チームブリヂストンサイクリングが 練習拠点を三島に！

TEAM BRIDGESTONE

オリンピック・パラリンピック 自転車競技が県内開催へ

東京2020大会では、自転車競技の多くが県東部地域で開催されます。トラック・レースとマウンテンバイクは日本サイクルスポーツセンター(伊豆市)にある伊豆ベロドロームと伊豆マウンテンバイクコースを会場に、また、ロードレースのゴール会場および個人タイムトライアルは富士スピードウェイ(駿東郡小山町)での開催が予定されています。



▲伊豆ベロドローム

チームブリヂストン サイクリングがやってくる

東京2020大会へ向けて士気を高めるため2017年に開催された「3年前イベント」では、ブリヂストンサイクル株式会社協力。「大会本番に近い環境で実践的な練習を積みたい」「大会会場の周辺地域で自転車を楽しむ文化を育みたい」という思いから、チームブリヂストンサイクリングが大会会場に近い三島市内に新たな拠点を構えることになりました。

起伏の多い伊豆半島は自転車競技向きの地形。今後は三島を拠点に、伊豆地域の公道や大会会場でメダル獲得を意識したトレーニングに励む予定です。



全日本チャンピオンなど、有力選手が多く所属する「チームブリヂストンサイクリング」が三島へ練習拠点を新設。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向け、自転車競技を応援しましょう！

岡商工観光課 ☎9833・2766

【チームブリヂストン サイクリング

▼今年新体制で発足した自転車競技15人のチーム。各種目の全日本チャンピオンや、国際大会の上位の選手も多く在籍する強豪チームです。

▼現在、選手の半数以上が三島市に住まいを移し練習しています。年内にはスタッフを含む大半のメンバーが移住し、練習拠点として本格的な活動が始まります。

▼三島への拠点新設にともない、選手やスタッフは地域に根差した取り組みにも積極的に参加する予定です。子ども向けの自転車教室やボランティア活動など、地域との交流を深め、東京2020大会後を見据えたサイクルスポーツ文化への貢献が期待されます。

■トラック・レース

「バンク」と呼ばれるすり鉢状の自転車競技場で行われます。会場の伊豆ベロドロームは、一周が250mの国際基準で決められたコースで、走路はすべてシベリア材松でできています。日本唯一の木製の屋内競技場です。

見どころは「スピード感」。使用する競技用自転車は軽量化を追求し、ブレーキや変速機は装備されていません。時速80kmもの速さで目の前を走り抜ける様子には圧倒されること間違いなし。



■マウンテンバイク

山や岩で起伏に富んだコースを走り、着順を競います。でこぼこした道をジャンプしたり、急な下り坂を駆け下りたりと、激しい動きに目が離せません。



■ロードレース

舗装された一般道を走る自転車競技で、順位やタイムを競います。走行距離は男子が200km超、女子が100km超になります。屋外コースを走るため、天候や道路状況などの要因に勝敗が大きく左右されます。起伏に合わせたペース配分や、空気を抵抗を減らすためのポジション取りが鍵となります。



今後も注目選手や大会種目について随時ご紹介していきます。
応援をよろしくお願いします！

CHASE YOUR DREAM

